



県立学校改革推進プラン

第1次実施プログラム



平成24年3月
千葉県教育委員会

目 次

第1次実施プログラムについて	1
---------------------------------	----------

I 魅力ある県立学校づくりの推進	2
-----------------------------------	----------

1 普通科及び普通系専門学科・コース	2
(1) 教員基礎コースの設置	
(2) 医療系コースの設置	
(3) 国際コミュニケーションコースの設置	
(4) 理数に関する学科の設置	
2 職業系専門学科・コース	5
(1) 農業教育の充実	
(2) 工業教育の充実	
(3) 福祉教育の充実	
3 社会のニーズに対応した教育	8
(1) 単位制の導入	
(2) 併設型中高一貫教育校の設置	
(3) 観光の学びの導入	
(4) 環境コースの設置	
(5) 防災の学びの導入	
(6) 地域連携アクティブスクールの設置	
(7) コミュニティ・スクールの設置	

II 県立学校の適正規模・適正配置	12
------------------------------------	-----------

全日制高校の配置（統合）	12
------------------------	-----------

第1次実施プログラムについて

県教育委員会では、平成24年度以降の県立学校改革を進めるため、平成22年5月に設置した県立学校改革推進プラン策定懇談会において御意見をいただきながら、新たな計画となる「県立学校改革推進プラン」をとりまとめました。

また、プランの作成にあわせ、具体的な個々の改革内容についても検討を続けてきたところであり、生徒減少の著しい地域への対応や雇用状況・社会構造の変化への対応など、本県県立高校を取り巻く状況や課題等を踏まえ、早期に実施すべき内容をまとめたものが、この第1次実施プログラムです。

プランは、平成24年度を初年度として、10年後の平成33年度を目標年次とし、実施に当たっては、平成24年度からの5年間（前期）と、平成29年度からの5年間（後期）に分けて、実施プログラムに基づき推進することとしており、第1次実施プログラムは、前期に実施する高校改革の内、検討を終えた具体計画をとりまとめたものです。

なお、今後も引き続きプランに基づき、実施すべき高校改革について検討を進め、随時公表し、その都度パブリックコメントなどの実施により、幅広く御意見をいただく予定としております。

I 魅力ある県立学校づくりの推進

1 普通科及び普通系専門学科・コース

(1) 教員基礎コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
千葉女子	26年度	普通科 家庭に関する学科	・普通科に 教員基礎コース を設置
安 房	26年度	普通科	・ 教員基礎コース を設置 ・英語科は、募集を停止 (H25)

【再編の内容】

- ・教育に関心を持ち、将来教員を目指す生徒が、教員としての基本的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等をはぐくむため、**千葉女子高校と安房高校に教員基礎コース**を設置します。
- ・安房高校の英語科は、平成25年度入試から募集を停止します。

【教育内容等】

- ・教育に関する学校設定教科・科目を設け、体験を重視した学習や、外部講師による講座等を実施します。
- ・近隣の小学校等と連携し、小学校での授業実習や行事等での補助など、学校現場での体験学習を実施します。
- ・教員養成系大学や教育機関との連携により、出前講座や特別講座等を実施します。

(2) 医療系コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
東 葛 飾	26年度	普通科	・ 医歯薬コースを設置 ・ 新たに県立中学校を併設 (H28)
長 狭	26年度	普通科	・ 医療・福祉コースを設置 ・ コミュニティ・スクールを設置 (H24)

【再編の内容】

- ・ 本県の医師不足の実態を踏まえ、地元医療機関等との連携による医療体験等をおして地域医療に対する理解と関心を高め、医療従事者（医師、歯科医師、薬剤師等）になる意欲を醸成し、将来の地域医療を担う人材の育成を図るため、**東葛飾高校**に**医歯薬コース**を設置します。
- ・ 近隣に位置する医療施設や医療大学との連携により、医療と福祉をリンクさせた教育が展開できるよう、**長狭高校**に**医療・福祉コース**を設置します。

【医歯薬コース】

- ・ 数学・理科の授業については、少人数指導や習熟度別学習などをおして、よりきめ細かい指導を実施します。
- ・ 医師や研究者等による講演会・出前授業、病院等でのインターンシップ、医療機関や研究所等の施設・設備見学等をおして、医療や科学技術への興味・関心を高めます。

【医療・福祉コース】

- ・ 近隣に所在する充実した医療施設（千葉県南部地域の拠点）や医療大学等との連携により、医療や看護、福祉等を含む幅広い分野にわたる、多面的な教育を行います。
- ・ 医療従事者や福祉施設職員等による講演会や出前授業、また、病院や施設実習等を通じて、医療や介護への関心を高めます。

(3) 国際コミュニケーションコースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
柏 井	25年度	普通科	・国際コミュニケーションコースを設置 ・英語科は、募集を停止

【再編の内容】

- ・グローバル化など社会の変化に対応するため、豊かな国際感覚を養う国際教育を視野に入れ、柏井高校に国際コミュニケーションコースを設置します。
- ・柏井高校の英語科は、平成25年度入試から募集を停止します。

【教育内容等】

- ・普通科に国際コミュニケーションコースを設置することで、従来の英語科の学びを継承するとともに、英語圏以外の言語や文化等についても学習します。
- ・歴史的に日本とつながりが深く、今後も一層の交流・連携が重要となる中国や韓国など、近隣アジア諸国の文化等を理解するとともに、ツールとしての言語を学習します。

(4) 理数に関する学科の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
佐 倉	26年度	普通科 理数に関する学科	・理数に関する学科を設置

【再編の内容】

- ・将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、佐倉高校に理数に関する学科を設置します。(学科名は今後検討します。)

【教育内容等】

- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を目指します。
- ・大学や研究機関等との連携により、研究者等による講演会・出前授業や、先端技術に触れる機会などを設けます。
- ・海外研修の実施について検討します。

2 職業系専門学科・コース

(1) 農業教育の充実

対象高校	実施年度	設置学科	備考
茂原樟陽	25年度	農業に関する学科 工業に関する学科	・農業教育の拠点校

【再編の内容】

- ・農業教育を統括し、農業スペシャリストを育成するなど、本県農業教育の更なる振興を推進するため、**茂原樟陽高校**を、本県農業高校のセンター的機能を有する農業教育の**拠点校**とします。
- ・拠点校には、農業教育連携事務局を設置し、連携コーディネーターを配置します。

【拠点校の役割】

- ・拠点校に設置した農業教育連携事務局が窓口となり、農業科設置校、行政機関、関係団体、大学、農業大学校等との連携を推進します。

(1) 農業科設置校との連携

農業教育のセンター的機能を果たし、農業科設置校とのネットワークを強化します。

(2) 行政機関・関係団体との連携

担い手支援課等の行政機関や関係団体と積極的に連携し、農業の担い手の育成を推進します。また、各農業高校に行政施策や事業に関する情報を積極的に提供します。

(3) 大学・農業大学校との連携

大学や農業大学校と連携し、農業のスペシャリスト育成のための教育を充実させます。特に、農業大学校との連携について、積極的に推進します。

(4) 先進農家との連携

先進農家と連携した実習等を取り入れ、実践的な農業教育を推進します。

【農業中心校の指定】

- ・拠点校の他に、各専門分野の**中心校**を指定し、各校の特徴を生かした農業教育を展開します。

- ◎ **茂原樟陽**（拠点校）：土木造園・流通の中心校
- **成田西陵**：園芸の中心校
- **旭農業**：畜産・作物の中心校
- **大網**：食品・生物工学の中心校

- ・拠点校は、各専門分野の中心校の取組を把握するとともに、取りまとめ、県内各校にそのノウハウや情報を提供します。

(2) 工業教育の充実

対象高校	実施年度	設置学科	備考
千葉工業	25年度	工業に関する学科	・工業教育の拠点校 ・コンソーシアムを設置 ・理数工学科を設置 (H28)

【再編の内容】

- ・工業教育の手法について、研究・開発を一層推進するとともに、県全体の工業教育の底上げを図るため、千葉工業高校を工業教育の拠点校とします。
- ・工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、企業（工業団地）や大学、研究機関、現代産業科学館、地域、行政機関等との連携を一層推進する組織（コンソーシアム）を設置します。
- ・大学においてより高度な知識・技術を身に付け、ものづくりに携わる優れた人材を育成するため、進学を視野に入れた理数工学科を設置します。

【拠点校の役割】

- ・拠点校は、他の工業科設置校の、それぞれの特色を生かした各専門分野（科目）の中心校として取り組みを把握するとともに、取りまとめ、そのノウハウや情報を各工業科設置校に提供します。

【コンソーシアム】

- ・コンソーシアム事務局を中心に、工業科設置校と各機関の間にネットワークを構築し、情報・ノウハウ及び研究成果等の共有を図ります。

(1) 行政機関・関係団体との連携

行政機関や関係団体と積極的に連携し、ものづくりや担い手の育成を図ります。また、各工業高校に行政の施策や事業に関する情報を積極的に提供します。

(2) 大学・高専等との連携

大学や高専等と連携し、高度な学びについて講演会を実施したり、生徒が大学等の講義に参加するなど、各専門分野のスペシャリスト育成のための教育を充実させます。

(3) 先進企業との連携

先進企業と連携した学習を取り入れるなど、実践的な専門教育について積極的に研究します。

【理数工学科】

- ・理数工学科は、進学に特化した新たな学科として、一般入試のほか多くの大学で実施されている推薦入試やAO入試に対応します。なお、従前から実施している「専攻コース」及び「進学コース」については、他の学科において引き続き実施します。

(3) 福祉教育の充実

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
松戸向陽	25年度	普通科 福祉に関する学科	・福祉教育の拠点校 ・普通科に福祉コースを設置
長 狭 (再掲)	26年度	普通科	・医療・福祉コースを設置 ・コミュニティ・スクールを設置 (H24)
小見川	27年度	普通科	・福祉コースを設置

【再編の内容】

- ・県全体の福祉教育の充実を図るため、**松戸向陽高校**を福祉教育の**拠点校**とします。
- ・福祉教育の拠点校化に併せて、学校全体で福祉教育を推進する環境をつくるため、**松戸向陽高校**の普通科に**福祉コース**を設置します。
- ・福祉について、地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランス等を考慮し、**長狭高校**に**医療・福祉コース**、**小見川高校**に**福祉コース**を設置します。

【拠点校の役割】

- ・拠点校を中心に、県内福祉コース、福祉系列設置校とのネットワークを構築し、福祉に関する知識や技術の習得などの研修を重ねることで、福祉教育のレベルアップを図ります。

【福祉コース】

- ・主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護員としての気遣いや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。
- ・将来的には、授業および施設実習や介護員養成研修を受講することで、卒業時に訪問介護員（ホームヘルパー）2級を取得できるようにします。
- ・特に、長狭高校については、近隣に位置する医療施設や医療大学との連携により、医療と福祉をリンクさせた教育が展開できるよう考慮することとし、医療・福祉コースを設置します。

3 社会のニーズに対応した教育

(1) 単位制の導入

対象高校	実施年度	設置学科	備考
成 東	28年度	普通科 理数に関する学科	・単位制を導入

【再編の内容】

- ・一人一人の生徒の興味・関心などに対応した学習を進め、個性の伸長を図り、幅広い進路選択を可能とするため、**成東高校**に**単位制**を導入します。

【教育内容等】

- ・学期毎の単位認定や短期集中講座の開設などを実施するとともに、多様な選択科目を設置し、生徒の適性・能力や進路等に応じた教育課程を編成します。
- ・ガイダンス機能を強化し、生徒が自ら目標を設定し、実現できるような取組みを行います。
- ・学校間連携を進めるとともに、大学での学修等、学校外での学修の単位認定制度などの活用を検討します。

(2) 併設型中高一貫教育校の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
東葛飾 (再掲)	28年度	普通科	・新たに 県立中学校 を併設 ・医歯薬コースを設置 (H26)

【再編の内容】

- ・高校卒業までの6年間をとおして、きめ細かな指導を行うことで、生徒の新たな能力の発見やその伸長を目指し、**東葛飾高校**に**県立中学校**を併設します。
- ・なお、東葛飾高校には、医歯薬コースを設置し、特に理数教育に力を入れます。

【教育内容等】

- ・中学校では、個々の生徒の適性、能力、個性に対応した主体的な学習が可能となる教育課程を編成するとともに、高校では、進路希望に応じて選択できる多様な選択科目を設けます。
- ・中学校・高校間における情報の共有化に努めるとともに、教員間の連携により、きめ細かく指導します。

(3) 観光の学びの導入

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
館山総合	27年度	工業に関する学科 商業に関する学科 水産に関する学科 家庭に関する学科	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の学びを導入 ・海洋科の栽培コースを栽培環境コースに転換

【再編の内容】

- ・地域の自然や産業、文化を観光資源として総合的に学習し、国内外の観光産業の意義や役割を理解させるとともに、郷土に愛着と誇りの持てる人材を育成するため、館山総合高校に観光の学びを導入します。

【教育内容等】

- ・観光業においては、特に対人関係が重要となってくることから、ホスピタリティを醸成するための、マナー、コミュニケーション能力の向上を図るための体験学習を実施します。
- ・大学や行政機関、関係団体等と連携し、外部講師による講義や、校外学習などの実践的・体験的な授業を展開します。

(4) 環境コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
館山総合 (再掲)	27年度	工業に関する学科 商業に関する学科 水産に関する学科 家庭に関する学科	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋科の栽培コースを栽培環境コースに転換 ・観光の学びを導入
銚子商業	27年度	商業に関する学科 水産に関する学科	・海洋科の海洋科学コースを栽培環境コースに転換

【再編の内容】

- ・海洋環境の学びを更に充実させ、地球環境における海洋の重要性に対する認識を深めるため、館山総合高校・海洋科の栽培コース及び銚子商業高校・海洋科の海洋科学コースを栽培環境コースに転換します。

【教育内容等】

- ・科目「海洋環境」を中心に、学校設定科目や特別活動の時間等を活用し、環境に関連する学びを実施するとともに、大学進学も視野に入れた内容の充実を図ります。
- ・海洋科のみならず、併置する他の学科の生徒も「環境」に関する意識付けができるような基礎的な科目を設定し、選択できるようにします。

(5) 防災の学びの導入

対象高校	実施年度	設置学科	備考
銚子	26年度	普通科	・防災の学びを導入

【再編の内容】

- ・東日本大震災の教訓を生かし、自然環境や社会環境との関わりを視点に据えた防災教育を推進するため、銚子高校に**防災の学び**を導入します。

【教育内容等】

- ・学校設定教科・科目において、防災に関連する教科・科目を開設し、選択できるようにします。
- ・大学や研究機関等と連携し、外部講師による講義や、校外学習などの実践的・体験的な授業を展開します。
- ・レサシアン(心肺蘇生練習用マネキン)やAEDトレーナーを使用した研修等を実施したり、緊急時の情報網の構築方法について学ぶなど、災害時にも冷静かつ臨機応変に対応するための学びを取り入れます。

(6) 地域連携アクティブスクールの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
泉	24年度	普通科	・地域連携アクティブスクールを設置
天羽	24年度	普通科	・地域連携アクティブスクールを設置

【再編の内容】

- ・地域との協同により、一人一人の生徒に応じた「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を通じてコミュニケーション能力や倫理観等を身に付け、自立した社会人を育成する、本県の新たなタイプの学校である**地域連携アクティブスクール**を泉高校と天羽高校に設置します。

【教育内容等】

- ・学び直しを始めとする、学ぶ意欲に応えるきめ細かな学習指導を行い、基礎学力を身に付け、生徒の満足度を高めます。
- ・「産業社会と人間」を導入するとともに、コミュニケーション能力を身に付けるトレーニングや、実践的な就業体験を取り入れるなど、充実したキャリア教育を行います。
- ・キャリア教育支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカーなどを配置して、きめ細かな支援体制を整備します。
- ・人間性を重視し、高校で頑張る意欲をみる独自の入学者選抜を実施します。

(7) コミュニティ・スクールの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
多 古	24年度	普通科 農業に関する学科	・コミュニティ・スクールを設置
長 狭 (再掲)	24年度	普通科	・コミュニティ・スクールを設置 ・医療・福祉コースを設置 (H26)

【再編の内容】

- ・保護者や地域住民が、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って、教育委員会、校長と責任を分かち合いながら学校運営に携わっていくことで、地域に開かれた、地域に支えられる、より良い教育の実現を目指すコミュニティ・スクールを多古高校と長狭高校に設置します。

Ⅱ 県立学校の適正規模・適正配置

全日制高校の配置（統合）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科(系列)	備 考
大 原 岬 勝浦若潮	大 原	27年度	総合学科 (文理系列 スポーツ系列 商業・観光系列 生活福祉系列 生産・食品系列 海洋科学系列)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岬高校の農場及び勝浦若潮高校の実習場は実習施設として使用 ・ 校名については今後検討

【経緯及び今後の対応】

大原高校、岬高校、勝浦若潮高校の3校については、地元関係者等から寄せられた様々な意見や要望等を参考にして、地域産業を担う人材育成や既存の施設の有効活用、地域振興などの観点から、公表案の一部を修正し、海洋科学系列を存続するとともに、岬高校の農場及び勝浦若潮高校の実習場を活用しつつ、統合を進めることとしました。

また、平成24年度の1年間については、さらに地元自治体等から実施プログラムに反映できる実効性のある提案がなされ得ることも考慮し、改革の方向性等に照らしながら、以下の再編の内容等の一部見直しについても協議してまいります。

【再編の内容】

- ・ 使用校舎は**大原高校**とし、設置学科は多様な学びを可能とする**総合学科**とします。
- ・ 大原高校の健康スポーツ科は、平成25年度入試から募集を停止します。
- ・ 統合校に設置する総合学科では、3校の学びを継承し、次のような系列を設けます。
 - ① **文 理 系 列**：大原高校・岬高校の普通科及び勝浦若潮高校の文理系列を継承
 - ② **ス ポ ー ツ 系 列**：大原高校の健康スポーツ科を継承
 - ③ **生 産 ・ 食 品 系 列**：岬高校の園芸科及び勝浦若潮高校の食品科学系列を継承
 - ④ **商 業 ・ 観 光 系 列**
 - ⑤ **生 活 福 祉 系 列**
 - ⑥ **海 洋 科 学 系 列**
 } 勝浦若潮高校の各系列を継承
- ・ 岬高校の農場及び勝浦若潮高校の実習場は、園芸や水産に関する実習等で使用します。

【統合校の目指す姿】

- ・ 総合学科の設置により、進学を視野に入れた普通科の学びや地元産業を支える人材育成に向けた専門の学びなど、生徒の多様なニーズに対応してまいります。
- ・ 積極的に地域との連携を推進し、地域の教育力を活用するとともに、地域の行事等に参加するなど、地域に信頼され、必要とされる学校づくりを進めます。
- ・ 地元自治体や小・中学校との連携を構築し、系統的なキャリア教育を実施するとともに、地元企業や商店街等との連携により、社会参加による体験学習を実施します。
- ・ 充実した体育施設・設備を活用し、地域の生涯スポーツの拠点校としての機能を持たせます。

